

平成27年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ホーブ
 コード番号 1382 URL <http://www.hob.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 政場 秀
 (氏名) 高橋 ゆかり

TEL 0166-83-3555

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第3四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第3四半期	4,312	18.0	68	△50.0	70	△55.4	41	△69.6
26年6月期第3四半期	3,654	13.1	137	—	158	—	137	—

(注) 包括利益 27年6月期第3四半期 41百万円 (△69.5%) 26年6月期第3四半期 137百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第3四半期	54.92	—
26年6月期第3四半期	180.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年6月期第3四半期	1,431	1,008	70.4	1,323.44
26年6月期	1,366	996	72.9	1,308.33

(参考) 自己資本 27年6月期第3四半期 1,008百万円 26年6月期 996百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	40.00	40.00
27年6月期	—	0.00	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,101	9.5	45	△67.4	54	△67.4	36	△51.1	47.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年6月期3Q	762,000 株	26年6月期	762,000 株
----------	-----------	--------	-----------

② 期末自己株式数

27年6月期3Q	75 株	26年6月期	75 株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年6月期3Q	761,925 株	26年6月期3Q	762,000 株
----------	-----------	----------	-----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビューは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策を背景とした、緩やかな回復基調で推移したものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動等により、個人消費の底上げにはまだ力強さにかげ、また円安による物価上昇の影響が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、自社いちご品種「ペチカプライム」「ペチカサンタ」を中心に、業務用いちご果実及びその他青果物の販売拡大に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高4,312,153千円(前年同期比18.0%増加)、営業利益68,978千円(前年同期比50.0%減少)、経常利益70,762千円(前年同期比55.4%減少)、四半期純利益41,843千円(前年同期比69.6%減少)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります

(いちご果実・青果事業)

いちご果実・青果事業は、当社と株式会社ホープ21が行っております。その主力商品は業務用いちご果実であります。当第3四半期連結累計期間におきましては、夏秋期は自社品種である「ペチカプライム」「ペチカサンタ」と輸入いちごを、その後は国産促成いちご(とちおとめ、さがほのかなど)を主に販売しております。夏秋期におきましては、7月に入り、中旬に向け他品種を含めた出荷量のピークが集中することになり、自社品種の販売で苦戦することとなりました。輸入いちごの販売も、円安により仕入原価の上昇があり、利益を確保するには至りませんでした。また促成いちごの販売は、業務用いちご果実の最需要期となるクリスマス期において、大手洋菓子メーカーからの発注量の減少や、年明け以降の市場への入荷量が少なかったことにより、いちご市場相場価格が高止まりとなり、売上高、利益とも確保するには至りませんでした。

その他青果物につきましては、コンビニエンスストア向けの売上は、前年同期を若干上回りましたが、その他の取引先からの発注量が減少したことから、売上、利益とも確保することができませんでした。

この結果、いちご果実・青果事業の売上高は3,151,001千円(前年同期比3.5%減少)、営業利益は121,571千円(前年同期比51.6%減少)となりました。

(種苗事業)

種苗事業は、当社が自社いちご品種「ペチカプライム」「ペチカサンタ」を中心とした種苗の生産販売を行っております。栽培方法には、秋に苗を定植し翌年から果実を生産する秋定植と、春に苗を定植し果実を生産する春定植の概ね2体系の作型があります。その販売は、春定植用苗を中心としており、当第3四半期連結累計期間においては、秋定植用苗の販売を終え、春定植用苗の販売を行っており、苗販売数量はほぼ前年どおりとなりました。

この結果、種苗事業の売上高は33,656千円(前年同期比2.8%増加)、また苗生産に係る経費が増加したことから営業利益は4,022千円(前年同期比48.2%減少)となりました。

(馬鈴薯事業)

馬鈴薯事業は、前第2四半期連結会計期間において連結子会社とした株式会社ジャパンポテトが行っております。同事業は、主に種馬鈴薯の生産販売、仕入販売と、青果馬鈴薯の仕入販売からなり、前第3四半期連結会計期間より四半期損益計算書を連結しております。主要売上品である種馬鈴薯には、秋から春にかけて販売する春作と夏に販売する秋作の2体系がありますが、そのメインは春作種馬鈴薯です。当第3四半期連結会計期間は、主に春作種馬鈴薯販売を行っております。

春作種馬鈴薯販売においては、例年より販売数量がやや減少いたしました。青果・加工として販売される利益率の低い規格外の販売数量が少なかったことで、利益率は向上いたしました。また、青果馬鈴薯の販売においては、販売量の拡大に努めたことで、売上高、利益とも予定を上回ることができました。

この結果、馬鈴薯事業の売上高は1,070,627千円、営業利益は66,728千円となりました。

(運送事業)

運送事業は、株式会社エス・ロジスティックスが行っており、関東圏を中心に運送事業を行っております。当社の商品配送を基盤としながら、一般荷主からの配送業務の受託に向けた営業を行ってまいりました。この結果、運送事業の売上高は56,867千円(前年同期比19.2%増加)となりました。

また、利益面では、提携業者との連携を強化し、自社配送の効率化及び原価の削減を図ったことで、営業利益は9,956千円(前年同期比137.6%増加)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の状況

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比較して78,283千円増加し、当第3四半期連結会計期間末で1,118,877千円となりました。これは売掛金が増加したことが主因であります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末と比較して13,038千円減少し、当第3四半期連結会計期間末で312,944千円となりました。これは有形固定資産及び無形固定資産が減少したことが主因であります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比較して48,970千円増加し、当第3四半期連結会計期間末で309,190千円となりました。これは買掛金が増加したことが主因であります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末と比較して4,765千円増加し、当第3四半期連結会計期間末で114,268千円となりました。これは役員退職慰労引当金が増加したことが主因であります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比較して11,509千円増加し、1,008,362千円となりました。なお、自己資本比率は前連結会計年度末の72.9%から70.4%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成27年2月5日の「平成27年6月期第2四半期決算短信」で公表いたしました予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	384,327	420,309
売掛金	473,818	567,769
たな卸資産	57,102	68,848
未収還付法人税等	519	14,750
その他	134,657	58,686
貸倒引当金	△9,831	△11,488
流動資産合計	1,040,593	1,118,877
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	124,740	118,532
機械装置及び運搬具(純額)	53,896	50,027
土地	70,111	70,111
その他(純額)	900	1,868
有形固定資産合計	249,649	240,540
無形固定資産		
のれん	26,536	24,441
その他	5,580	4,130
無形固定資産合計	32,116	28,571
投資その他の資産		
その他	44,228	44,333
貸倒引当金	△12	△501
投資その他の資産合計	44,216	43,831
固定資産合計	325,982	312,944
資産合計	1,366,576	1,431,821
負債の部		
流動負債		
買掛金	128,696	207,435
未払法人税等	47,338	20,794
賞与引当金	1,126	10,582
その他	83,058	70,377
流動負債合計	260,219	309,190
固定負債		
退職給付に係る負債	36,274	36,979
役員退職慰労引当金	70,320	74,347
その他	2,908	2,941
固定負債合計	109,503	114,268
負債合計	369,723	423,458

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	421,250	421,250
資本剰余金	432,250	432,250
利益剰余金	143,428	154,795
自己株式	△90	△90
株主資本合計	996,838	1,008,205
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13	157
その他の包括利益累計額合計	13	157
純資産合計	996,852	1,008,362
負債純資産合計	1,366,576	1,431,821

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)
売上高	※ 3,654,778	※ 4,312,153
売上原価	※ 2,919,663	※ 3,612,192
売上総利益	735,115	699,960
販売費及び一般管理費	597,858	630,982
営業利益	137,256	68,978
営業外収益		
受取利息	265	692
保険解約返戻金	18,179	—
債務勘定整理益	680	405
その他	2,687	919
営業外収益合計	21,812	2,018
営業外費用		
支払利息	525	234
営業外費用合計	525	234
経常利益	158,544	70,762
特別利益		
固定資産売却益	408	159
特別利益合計	408	159
特別損失		
固定資産売却損	116	—
固定資産除却損	40	69
特別損失合計	157	69
税金等調整前四半期純利益	158,795	70,852
法人税等	21,058	29,009
少数株主損益調整前四半期純利益	137,737	41,843
四半期純利益	137,737	41,843

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	137,737	41,843
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△85	143
その他の包括利益合計	△85	143
四半期包括利益	137,651	41,986
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	137,651	41,986
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	いちご果 実・青果	種苗	馬鈴薯	運送			
売上高							
外部顧客への売上高	3,265,253	32,753	309,054	47,716	3,654,778	—	3,654,778
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	140,383	140,383	△140,383	—
計	3,265,253	32,753	309,054	188,100	3,795,161	△140,383	3,654,778
セグメント利益	251,433	7,771	13,364	4,190	276,760	△139,503	137,256

(注) 1. セグメント利益の調整額△139,503千円には、セグメント間取引消去2,380千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△141,883千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年7月1日至平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	いちご果 実・青果	種苗	馬鈴薯	運送			
売上高							
外部顧客への売上高	3,151,001	33,656	1,070,627	56,867	4,312,153	—	4,312,153
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	654	145,766	146,421	△146,421	—
計	3,151,001	33,656	1,071,281	202,633	4,458,574	△146,421	4,312,153
セグメント利益	121,571	4,022	66,728	9,956	202,279	△133,301	68,978

(注) 1. セグメント利益の調整額△133,301千円には、セグメント間取引消去557千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△133,858千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。